***2019年度 国際連携タスクフォース活動計画***

　国際連携タスクフォースは、新たな経済連携協定や貿易円滑化協定などの国際取引の枠組みの中で、商取引・金融・生産の情報連携によるビジネスインフラ構築のために、関連タスクフォースと国連CEFACT日本委員会・標準促進委員会と協力して、国連CEFACTおよびアジア地域における国際連携調査研究を行う。

（１）国連CEFACTにおける国際標準化とその普及

・国連CEFACT日本委員会の下、国連CEFACTにおける手法技術PDA、国際サプライチェーンPDA、およびライブラリ管理チームに参加し、日本提案を含む標準の策定・保守と普及に貢献する。出張旅費は一般財団法人日本貿易関係手続簡易化協会が負担する。

* 第33回国連CEFACTフォーラム（ジュネーブ：スイス）2019年4月
* 第34回国連CEFACTフォーラム（欧州）2019年10月（未定）

・AFACT等を通じ、アジア各国の情報連携電子化状況とその取組みを調査するとともに、国連CEFACT標準に基づくSIPSビジネスインフラの普及を図る。

* AFACT中間会議（バンコク：タイ）　2019年5月
* AFACT総会（アユタヤ：タイ）　2019年11月（未定）

・国連ESCAPにおける貿易円滑化枠組協定に関わるアジア太平洋貿易円滑化フォーラム（APTFF）に参加し、国連ESCAP加盟各国に国連CEFACT標準の普及を図る。出張旅費は一部国連ESCAPが負担する。

* 国連ESCAP APTFF会議（インド）　2019年9月

（２）新技術に対応する国連CEFACTプロジェクト参加

・国連CEFACT標準をユーザーニーズに合わせて展開することを容易にするため、SIPSが主体となってXMLメッセージ構築ガイドライン・プロジェクトを提案し、ガイドラインの策定と関連技術仕様の必要な改正を進める（プロジェクト承認済）。

・国連CEFACT標準のWeb API化プロジェクトに参加し、将来のWeb-APIベースの企業間情報共有プラットフォームに関わる方針と実装ガイド策定に貢献する。

・サプライチェーンマネージメントにおけるIoTによるアセット・トラッキングの実装につき調査研究する。

